



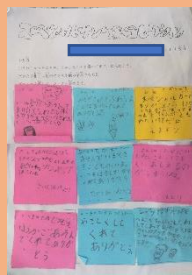
川口市立 舟戸小学校



～舟戸小の道徳教育の取り組み～



異学年での活動を通して、役割を自覚し、互いに支え合う心を育てています。高学年はリーダーとして、中学年は支える立場として、低学年は仲間とのつながりを大切にして活動しています。



日常の中で感じた思いやりや感謝の気持ちを大切に、温かい学校づくりにつなげています。児童は友達にされて嬉しかったことや言われて嬉しかったことをカードに書いてポストに届けます。届いたカードを掲示することで、互いの良さや温かい行動を認め合っています。



規律ある態度を身に付けるため、「名札の着用」と「靴のかかとそろえ」「あいさつ」を重点に取り組んでいます。自分達で意識して行動できるように、ルールを明確化したり、各学級で話し合ったりする時間を設けています。



舟戸幼稚園、舟戸小学校、南中学校が同一敷地にある強みを生かし、年間を通して様々な交流活動を行っています。幼稚園への手洗い指導や読み聞かせ、幼稚園児との交流、中学校との合同保健委員会など、異年齢で関わる機会を大切にしています。交流を通して、相手を思いやる心や親切、礼儀を身に付けると共に、よりよい学校生活や集団生活について考える機会としています。



～道徳科の取り組み～



道徳の授業の導入にフリートークの時間を設けています。お題について自分の考えを自由に伝え合うことで、友達の考えや思いを知り、他者理解を深めることを大切にしています。互いの考えに触れる中で、相手の立場や気持ちを考える力を育てていきます。



友達の考えに触れる機会を意図的に設定しています。ペアやグループでの話し合いに加え、席を離れて様々な友達と交流する活動を通して、多様な考えに触れています。自分にはなかった考えに気づいたり、自分の考えに自信をもったり、それぞれの思いを深めたりすることにつなげています。また、友達の考えに触れることが、自分自身の考えと向き合い、自己を見つめるきっかけにもなっています。

